

No.2013	
6月12日例会 プログラム 「警察活動にご協力を」	玉野警察署 署長 大本 工様
6月19日例会 プログラム 「任期を終えて」	緋田秀雄会長 高橋秀明幹事
6月12日のメニュー ・冷製スパゲッティーのパジルソース ・小海老のパイ詰め ・ロール&バター ・ミントゼリー ・コーヒー	

前回（6月5日）例会記録

出席報告	会員総数	32名	出席者数	25名	欠席者数	7名	出席率	78.13%	前回補正率	90.63%
	前回補正者	岡君 槌田君								
	欠席者	林君 東川君 井上君 仲田君 高橋(征)君 谷口君 山田(次)君								

会長挨拶

会長任期も余す所、一か月となりました。その都度の拙いあいさつですが毎週、毎週のお付き合い本当にありがとうございます。甘えついでにあと3回お付き合い下さい。先々週にお話し致しました、2009年3月期の決算で約90%以上の決算発表で特別損失(リストラ費用)を5兆円以上とお話し致しましたが、2009年6月4日(木)の日経新聞による最終発表では6年ぶりの高水準である6兆円以上の特損(リストラ費用)を計上しています。これは、前にお話し致しました通り、固定費削減を目指したものでしょう。これにより、これから本業回復に伴う効果は大なるものと期待できます。又、ここ3~4日間の新聞記事によりますと、ほとんど毎日、GM(ジェネラル・モーターズ)の連邦破産法11条の申請の事です。事業会社を国有化し約60~90日間(2~3ヵ月)の短期間処理による、新GMの再生発足となりそうです。問題は多々あると思われませんが、期待や大です。

会長報告

- ・ 元会員の三谷尚三君の再入会が決定致しました。次回例会(6月12日)から出席されます。
- ・ 本日は6月第1例会ですので、例会終了後、理事役員会を開催致します。理事役員の方はお残り下さい。

幹事報告

- ・ 本日はございません。他クラブの週報・例会変更通知は回覧させていただきます。

第12回定例理事役員会議事録 6月5日

- ・ 次年度のロータリー週報のデザインについて
カラーのデザインとし、次期会報委員長から提示のあった2候補の中のどれを選定するかは次期会長・幹事に一任する。また、ファイルの色は青色とする。
- ・ 次年度の例会運営について 次回例会から月内に次年度会長または幹事より会員に説明する。

委員会報告

- ・ 親睦・家族委員会(岡眞司委員長):《誕生日祝》松尾君 14日、富永君 30日
《結婚記念日祝》緋田君 1日、山田(孝)君 22日
- ・ 藤田次期ガバナー補佐より:本日はガバナー補佐としての報告ではありませんが、5月31日に乗馬体験教室の開催がございました。会長、幹事が所用でおりませんでしたので、私が代わりに行って、ご挨拶をさせて頂きました。クラブからは3万円の協賛金が出ておりまして、今回の事も踏まえご報告をさせていただきます。

スマイル・ボックス

- ・ 緋田会長、松尾君、白石君、立石君、三宅(保)君、富永君、小野君、渡邊君、槌田君、島田君 - 5月24日、玉野RC創立記念。
- ・ 緋田会長 - 会員増強、分類委員会の皆様、純増2名ありがとうございました。結婚記念日祝。
- ・ 岡君 - 6月は親睦月間です。今日、お話しをさせていただきます。
- ・ 石川君 - 3RCコンペで個人5位、団体優勝、玉野RC内優勝させて頂きました。今年もホテル対抗戦、ご

参加宜しくお願い致します。

- ・山田(孝)君 - 結婚記念日祝。 ・松尾君 - 誕生日祝。 ・富永君 - 誕生日祝。
- ・渡邊君 - 入会月。 ・槌田君 - 欠席届け2回分です。

プログラム 「ロータリー親睦活動月間に因んで」 岡眞司委員長

1 ロータリー親睦月間とは

6月はレクリエーション活動や保健と医療問題に共通の関心を寄せるロータリアンや類似した職業を持つロータリアン同士の国際親善と善意の重要性を認識し、親睦活動への参加の増加、およびこのプログラムに対する理解を促進するため、RI理事会によってロータリー親睦活動月間として指定された。RI理事会は各親睦グループがプロジェクト活動および催しを通じて、6月の「ロータリー親睦月間」を祝う活動を強調するよう奨励する。

2 親睦と奉仕

親睦を目的として出発したロータリーも、長く真摯な論議を重ねながら、大きな変貌を遂げました。ロータリーの二本柱としてロータリアンのほとんどは親睦と奉仕を上げます。ロータリーライフを支える親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることは疑いのない事実です。

ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元にしています。「fellowship」を「親睦」と訳したことに問題があるかもしれませんが、むしろ「友情」とか「友愛」と訳す方が理解し易いでしょう。ちなみに米山梅吉がポール・ハリスの「this Rotarian Age」を翻訳するに当たり、その書名を「ロータリーの理想と友愛」と訳したことは、理想=奉仕 友愛=親睦を意味するものであり、戦前のクラブ組織表では、親睦委員会の代わりに友愛委員会の名称が使われていました。

ではロータリーが定義する親睦とは一体どんなことでしょうか？結論から先に言えば「親睦」とはロータリークラブがクラブとして存続していく上で欠かすことのできない必須条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。親睦活動がクラブ奉仕の充分条件の範囲内で親睦というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動委員の任務を、親睦会の幹事や同好会の世話に留めることは大きな誤りです。確かに会員が心を打ち解けあう手段の一つとして親睦会やクラブ活動などのレクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は毎週一回の定例の例会である事をわすれてはいけません。例会においていかに友情を深めるかを考え実行する事と、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが大切です。友情溢れる例会を通じてロータリアンがお互い切磋琢磨し自己改善に努めることでロータリーの説く親睦が一層深まり奉仕の心が高まってきます。

3 親睦活動の4つの分類

会員相互

会員は「職業分類において平等である」を基本としなくてはなりません。そのために座席の配列に注意をすること。……テーブルカードで席順の決定趣味の集まり、スポーツ、旅行等の特別な企画が必要……一番は一緒に仕事をすること

来訪者

自分が他クラブを来訪した時にそのクラブの良いことも悪いことも良く判ります。来訪者の受ける印象がクラブの価値を決定します。来訪者をまごつかせぬこと、ひとりぼっちで置かぬことが大切です。来訪者の印象は、クラブを立ち去るときの最終印象によって決まります。最後まで友情を示しましょう。

他クラブとの親睦

近隣クラブとのゴルフコンペなど交際範囲が広まり刺激を受けてロータリーの楽しさを増加させます。積極的に交流をしましょう。

家族を交えた親睦会

会員とその家族を交えた合同家族会が大きな親睦効果を上げます。そしてその意義は親睦だけに止まりません。「家族にロータリーを理解させ、家族をロータリーファンにすること」がロータリー活動に大切であるということです。ロータリーの良さを印象付けるいろいろな行事が必要であり、そのためにも夫婦同伴であるべきです。